

平成22年度 農村災害ボランティア平常時点検活動

【深川土地改良区】

用・排水路名称 第1連合排水 芽生支線 10分水用水路

報告書

第1連合排水



調査起点部



調査起点部

芽生支線 10分水用水路



下流より上流



用水横断工



点検調査 ; 平成22年7月29日(木)
調査グループ ; 空知グループ
調査員 ; 伊藤 省三、小田島 徹、谷 幸二、
(あいおえお順) 本間 智、松本 豊、湯浅 哲彦、

総 括

用・排水路名称 第1 連合排水・芽生支線 10 分水用水路 管理者 深川土地改良区
用・排水路所在地 深川市・妹背牛町 ボランティアグループ名 空知グループ
見回り・点検年月日 平成 22 年 7 月 29 日(木)

1. 調査概要等

当日は降雨のなか、深川土地改良区職員を含め総勢 11 名により目視を中心に、増水となっていた排水路、用水路の調査を行った。

調査はV・Uトラフおよび現場打ちコンクリート水路の形状・変形の有無や材質の劣化および法面の滑落・崩壊の有無等を確認することとした。

第1 連合排水路については、起点部の合流枡の盛り土崩落以外には大きな問題はなかった。しかしコンクリートトラフの一部には風化による劣化状況が、また排水落ち口のコンクリート管に営農による破損が確認されるが、早期の敷設替えは必要無いものと思われる。

用水施設では、昭和 43 年ほ場整備事業花園地区により築造された後、昭和 57 年道営災害復旧事業菊水地区で復旧されてから、経過年数も少なく地盤も良好なこともあり施設の破損・沈下は認められない。

調査の結果は、調査時の降雨でも用水路および排水路の通水には越水等大きな影響も無く、施設全体としては善良に管理されているものと思われる。

2. 改修工法

当面は、施設の改良や更新の必要性は認められない。

3. その他

土地改良区区域には、直轄事業や補助土地改良事業で整備した用水路約 400 km (内 140 km は区の直轄管理、260 km は支線組合の管理) 排水路約 300 km (区は 25 km、275 km は支線組合の管理) の施設があるが、今後災害が発生した場合、天災の有無が施設管理台帳により確認されることが想定される。

今回はその一部の抽出による調査であったが現状施設は良好に管理されていた。

しかし、台帳に整備されている内容は、直轄事業による施設はおおむね適正に整理されているが、特に大半を占めるほ場整備事業では 1 / 1000 図に路線名のみの記載に止まっている。これは当時の出来高設計等による引継ぎに多く問題があった為と推察される。

これら施設は支線組合(直接の受益者)の管理であるが、災害が起きると土地改良区が申請主体となり復旧することとなるため、詳細な台帳が有益である。

近年の気象状況ではゲリラ降雨等による被災も想定されることから、早急に整備する必要がある。

土地改良施設は国民的財産の側面を有しており、良好な管理の為にも台帳整備は必要である。

また、土地改良区の財務運営上から調査や作成に対しては、国や地方公共団体から補助を含め何らかの支援が必要と考える。

第1 連合排水 見回り・点検結果（第1回）

点検結果

| 名 称 | 項 目 | 有・無 | 有りの場合における状況 |
|------|------|-----|-----------------|
| 施設 | 漏水 | 無 | |
| | 破損 | 無 | |
| | 不等沈下 | 無 | |
| | | | |
| 法面 | 崩壊 | 無 | |
| | | | |
| | | | |
| 附帯施設 | 漏水 | 無 | |
| | 亀裂 | 無 | |
| | 破損 | 有 | 起点部の合流柵の盛土に崩落有り |
| | | | |
| 管理施設 | 漏水 | | |
| | 亀裂 | | |
| | 破損 | | |
| | | | |

排水路 チェックリスト

| | 点検見回り項目 | 判定 | 備 考 |
|------|-----------------------|----|--------|
| 施設 | ・漏水が見られる | 無 | |
| | ・亀裂が見られる | 無 | |
| | ・不等沈下が見られる | 無 | |
| | ・堆砂が著しい | 無 | |
| | | | |
| 法面 | ・崩落が見られる | 有 | 起点部に有り |
| | | | |
| | | | |
| 付帯施設 | ・漏水が見られる | 無 | |
| | ・亀裂が見られる | 無 | |
| | ・不等沈下が見られる | 無 | |
| | | | |
| 管理施設 | ・亀裂が見られる | | |
| | ・不等沈下が見られる | | |
| | ・安全施設（フェンス）が傾倒して危険である | | |
| | ・管理施設が施錠されていない | | |
| | | | |

判定には、有・無、不明・該当無等を記入

ポンチ図又は写真



下流排水路



下流排水路



下流排水路



調査起点部



調査起点部



調査起点部



調査起点部



流入部



流入部



横断暗渠部



排水路



調査終点部より起点方向

コメント（気になった事項等）

調査起点部で合流枡の盛土の一部に崩落が有ることから、早期に復旧し増破を防ぐ必要有り

芽生支線 10 分水用水路 見回り・点検結果（第 1 回）

点検結果

| 名 称 | 項 目 | 有・無 | 有りの場合における状況 |
|------|------|-----|-------------|
| 施設 | 漏水 | 無 | |
| | 破損 | 無 | |
| | 不等沈下 | 無 | |
| | | | |
| 法面 | 崩壊 | 無 | |
| | | | |
| | | | |
| 附帯施設 | 漏水 | 無 | |
| | 亀裂 | 無 | |
| | 破損 | 無 | |
| | | | |
| 管理施設 | 漏水 | | |
| | 亀裂 | | |
| | 破損 | | |
| | | | |

用水路 チェックリスト

| | 点検見回り項目 | 判定 | 備 考 |
|------|-----------------------|----|-----|
| 施設 | ・漏水が見られる | 無 | |
| | ・亀裂が見られる | 無 | |
| | ・不等沈下が見られる | 無 | |
| | ・堆砂が著しい | 無 | |
| | | | |
| 法面 | ・崩落が見られる | 無 | |
| | | | |
| | | | |
| 付帯施設 | ・漏水が見られる | 無 | |
| | ・亀裂が見られる | 無 | |
| | ・不等沈下が見られる | 無 | |
| | | | |
| 管理施設 | ・亀裂が見られる | | |
| | ・不等沈下が見られる | | |
| | ・安全施設（フェンス）が傾倒して危険である | | |
| | ・管理施設が施錠されていない | | |
| | | | |

判定には、有・無、不明・該当無等を記入

ポンチ図又は写真



下流より上流



用水横断工



用水横断工



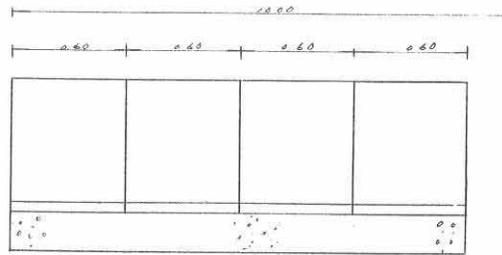
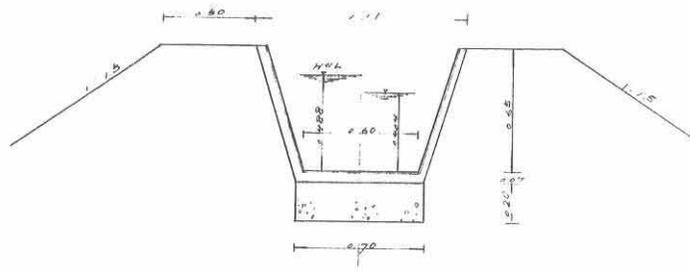
用水横断工



用水放水部

コメント（気になった事項等）

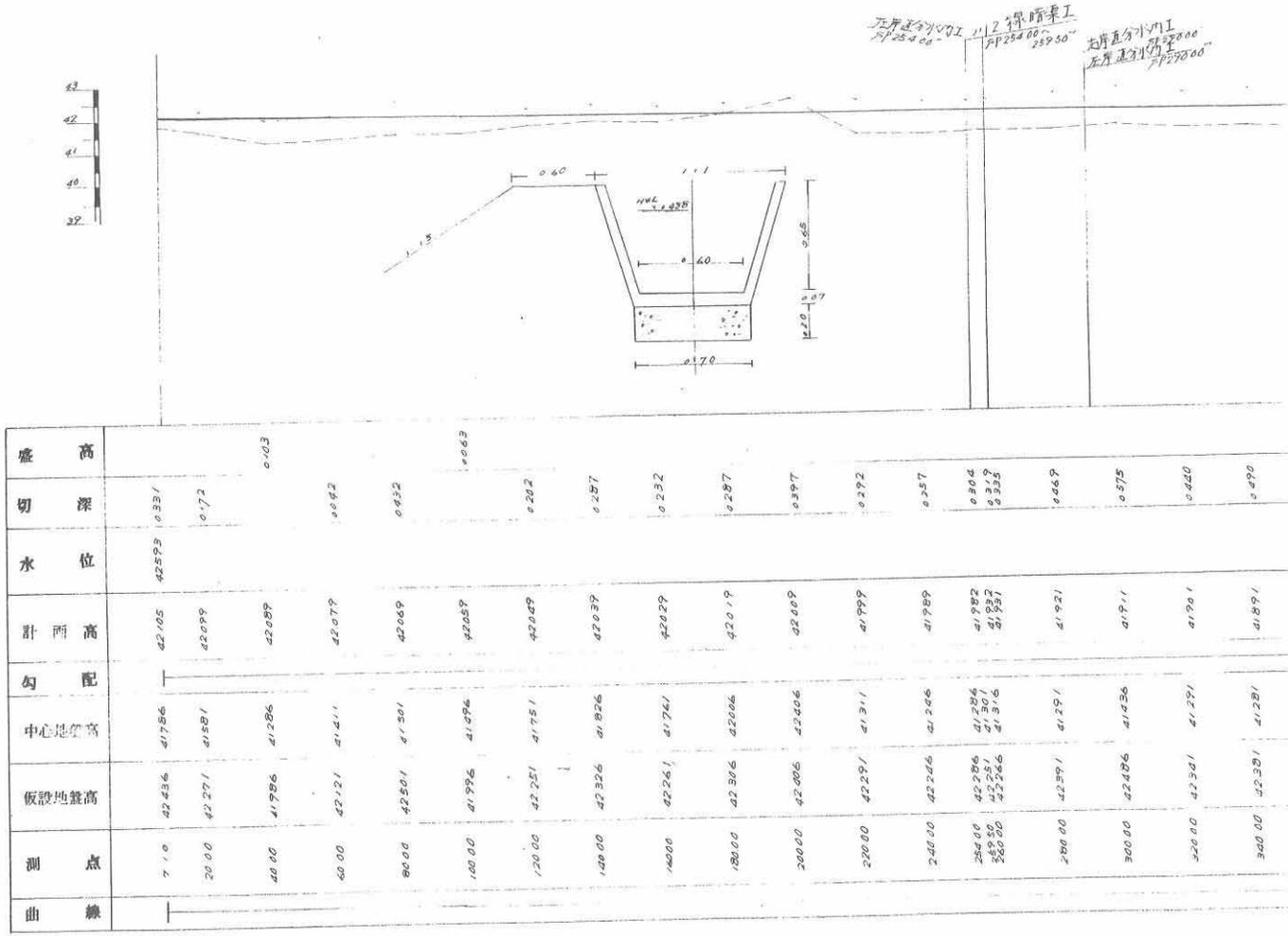
特にコメントの必要は無い

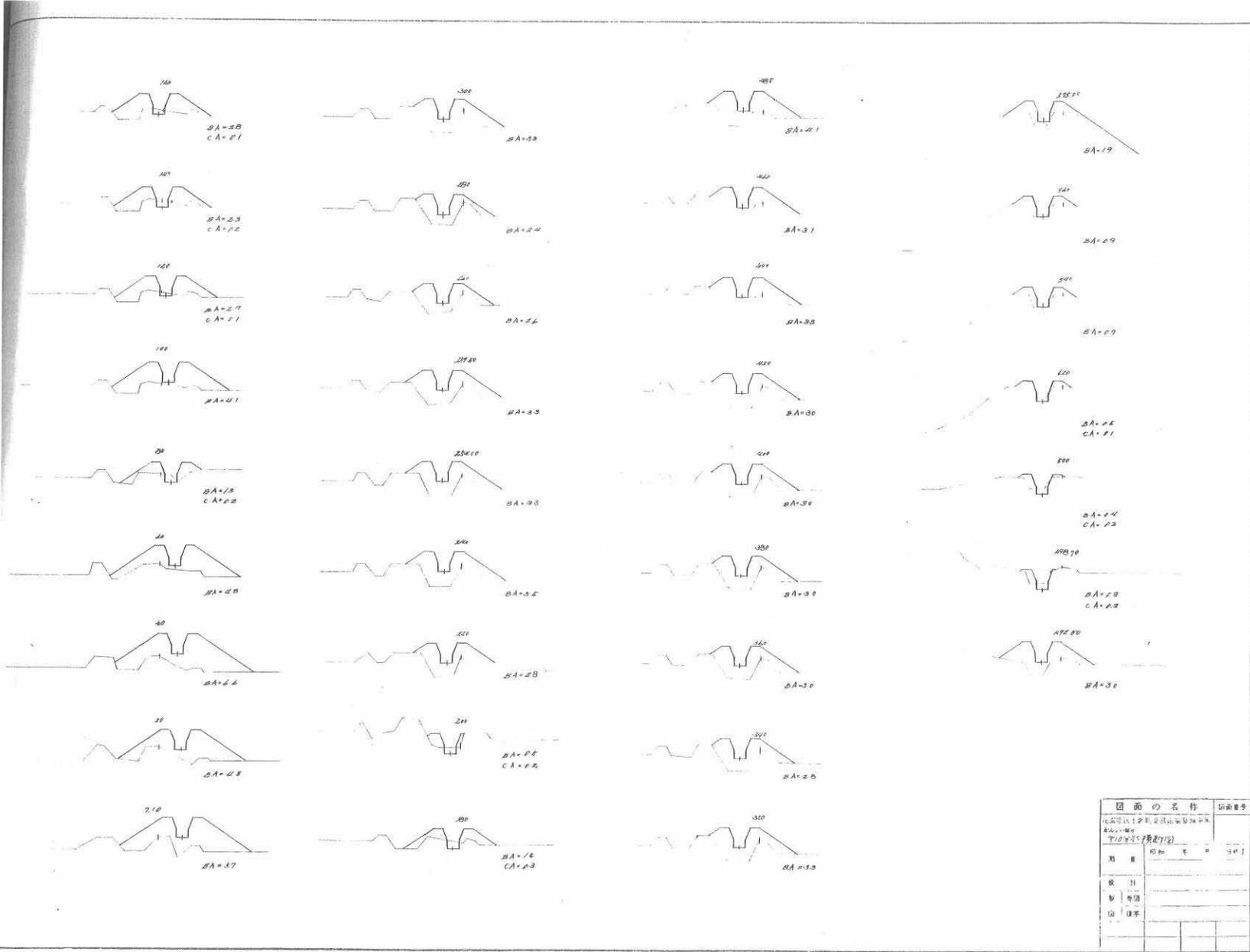


| | | | |
|--|------------|------|--|
| 図面の名称 | | 図面番号 | |
| 花崗地区外の街道普通雨水管渠工事 おんかー橋 丁10分の1の縮尺工区規図 | | | |
| 測量 | 昭和 年 月 日終了 | | |
| 設計 | | | |
| 原図 | | | |
| 複写 | | | |
| | | | |
| | | | |

203

花園第二期道后「場」事業
第十分水縦断面図





| 図面の名称 | | 図面番号 |
|-------------------------|-----|------|
| 株式会社 〇〇〇〇 建設部 土木課 | | |
| 別 冊 | 図 号 | 日 付 |
| 取 引 | | |
| 製 作 | | |
| 図 検 | | |
| | | |
| | | |

100